

吉川在住 スノボにきょう登場

小野選手 笑顔で頑張れ！

県内出身の高校3年生、いざ大舞台へ――。

北京冬季オリンピックのスノーボード女子ハーフパイプ（9日予選、10日決勝）に、吉川市在住の小野光希選手（17）が登場する。同種目代表4人のうち最年少だが、直前のワールドカップで表彰台に立つなど期待もあくらむ。「笑顔で頑張れ！」「目指せ、金メダル！」。学校の同窓生や学校関係者ら市民は熱い声援を送る。

【武田良敬】

ドトップ級に。東京の成立学園高に在学しながらユース五輪で金メダルを獲得。今回初の五輪代表に選ばれた。

両親の影響で幼少

期からスノーボードを取り組むよう頑張る」と

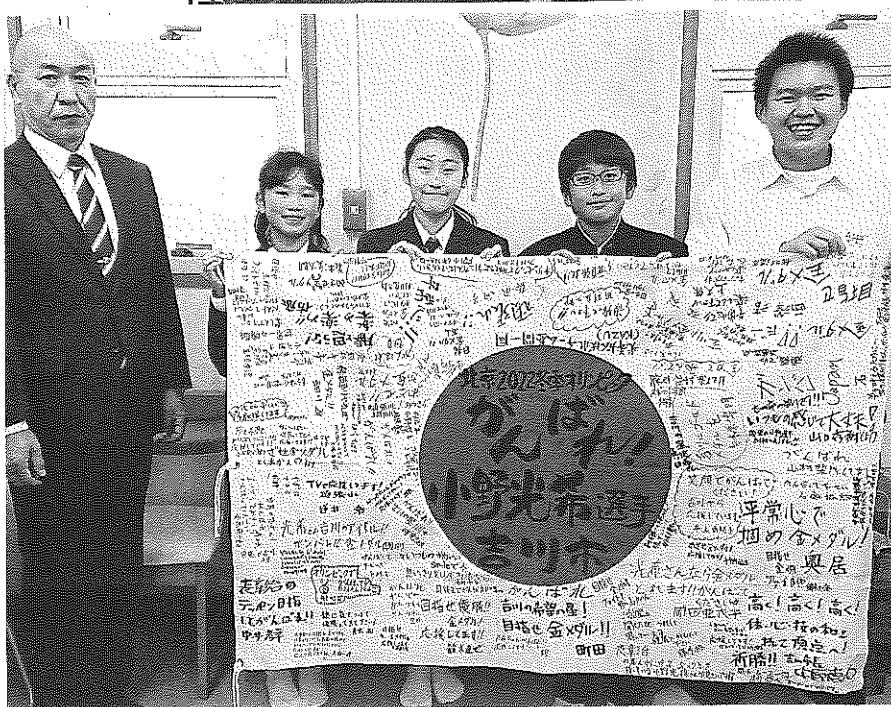
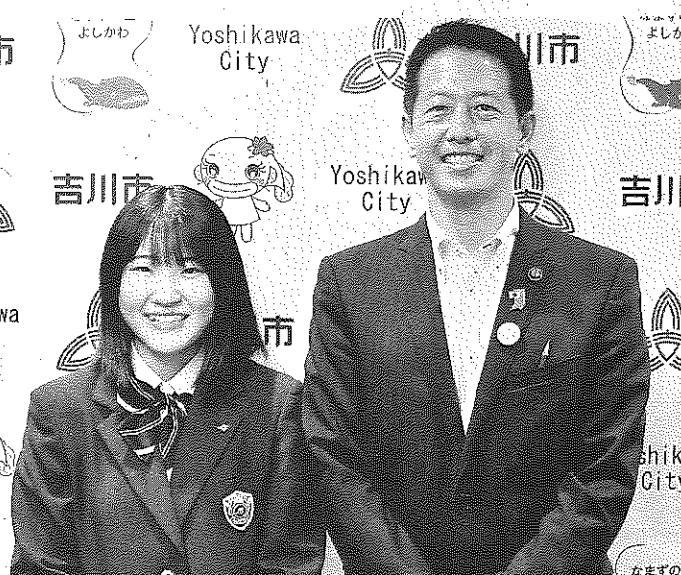
始めた小野選手。市立

関小学校5年時にプロ

資格を取得。夏場も神

奈川県内の練習に通い才能を開花させ、中央時代にジュニア世界選手権で優勝するな

同窓生や市民 热い声援



●北京五輪に向け、吉川市の中原恵人市長（右）を表敬訪問した際の小野光希選手（左）と市役所で2021年10月12日（木）野光希選手への応援を寄せ書きした国旗を掲げる母校・吉川市立中央中の横川校長（左）と生徒会の代表・吉川市立中央中で22年2月4日、いずれも同市提供

市は1月末、JR吉川駅に五輪出場を祝つ横断幕を掲示。ありがとうございました」とSNSでメッセージが返ってきました。が日の丸に寄せ書きし、市役所に飾った。中央中の横川明久校長は「あきらめず努力してます」とコメントした。

ていた。身長154cmと小柄だが上空を何回転も飛ぶ大技を見せてくれるはずだ。

すれば夢がかなう」と体現してくれた」と話す。中原市長も「誰よりも高く飛び、表彰台に立てるよう市民あげて応援しています」とコメントした。